



山武地域における医療体制  
に関する要望書

平成18年9月

山武地域医療協議会

平素より山武郡市の地域医療に関しましては、多大な御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

山武郡市（東金市、山武市、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町）は、県下でも医師数の少ない医療過疎地域であり、地域医療の維持確保については非常に厳しい状態が続いております。

現在、当地域においては医療過疎の解消、地域医療の充実を図るべく、千葉県からの支援を戴きながら山武地域医療センター構想の実現に向けて協議を進めており、この構想の実現により、地域医療の充実が図られるものと考えております。

昨今、地域病院における医師不足は全国的な問題であり、特に当地域においては深刻な問題となっております。二次救急輪番体制については、県立東金病院の医師不足に端を発し、基幹病院である組合立国保成東病院にあっては、内科医師全員退職の事態に至り、3月から内科系の救急患者の受け入れが不可能となる等、当地域の内科系救急医療体制は危機的状況にあります。

この状況を受け、地元自治体は、本年4月から二次救急輪番体制に係る緊急対応策として、病院群輪番制へ参加の6病院に対する運営事業助成金を増額する措置を行っておりますが、依然として内科系については月内において当番病院が存在しないという空白日が16日前後となる状況が続いており、地域外への救急搬送も4割に達し、住民の不安は募るばかりとなっております。

このため、当協議会では臨時会を召集し、当地域の医療体制の改善に向けて意見交換を行い、地域として横断的、総合的に取り得る対策を検討するための小委員会を設置し、早急に具体策をまとめることといたしました。やはり公立病院の充実が重要であり医師確保が最優先課題であるとの認識で一致したところです。こうした医師確保をはじめとする地域医療の整備にあたっては、地元のみでは限界があり、千葉県の協力が不可欠であると考えます。

千葉県におかれましては、このような山武郡市の医療体制が危機的状況にあることについて御理解を賜り、県立東金病院における医師確保と公立病院の医師確保をはじめとする地域医療の充実について格別の御高配を賜りますよう、山武郡市の市町、議会及び医療関係者で構成される山武地域医療協議会の総意として要望いたします。

平成18年9月5日

千葉県知事  
堂本 暁子 様

山武地域医療協議会  
会長 志賀 直 温  
(東金市長)

